

第5回 高知地方会 活動報告

開催日：平成30年8月18日（土） 14:00～17:00

会場：サンピアセリーズ

できる医師事務作業補助者シリーズ ②「カルテ・診断書の書き方講座」

平成30年8月18日サンピアセリーズにおいて第5回高知地方会を開催致しました。

今回はできる医師事務作業補助者シリーズ「カルテ・診断書の書き方講座」をテーマに97名の方々（会員23名 非会員74名）にご参加いただき、盛会に終わりました。

まず初めに顧問である堀見 忠司先生より開会のご挨拶をいただきました。

～講演～

講演1：医療法人 尚腎会 高知高須病院 管理部支援室 室長 山岡 正明

「医療事故（紛争）とカルテ等記載について」と題し、ご講演いただきました。



診療録は医師の単なる備忘録ではなくチーム医療における情報共有、診療情報のツールなど様々な目的を果たしており、診療録の記載が不十分の場合は医療紛争に巻き込まれる原因となるため、医師は遅滞なく診療録に必要な事項を記載する必要がある。

手術説明を行う時は、①複数の術式及びその成績と考え得るリスクの提示、②合併症や死亡率の具体的データの提出、③手術の不確実性、④手術をしない場合の代替治療についての選択肢の提示、また説明を受けた患者・家族からの質問や反応等の要点を必ず診療録へ記録し、患者の理解度の確認が大切である。

また診断書作成時の留意点・訂正等については、実例を交えながら具体的にできる予防策や対策に実用性があり、非常に勉強になりました。電子カルテが普及し、簡単にカルテ修正が可能となっているいま、記載の重要性を改めて確認することができた貴重なご講演でした。

～事例発表～

今回は、下記3施設より事例発表していただきました。

- | | |
|-----------------------------|--------|
| ①社会医療法人 仁生会 細木病院 情報システム管理課 | 廣内 朱美 |
| ②医療法人 旦龍会 町田病院 管理部 医事秘書課 課長 | 岡林 麻美 |
| ③高知県立幡多けんみん病院 医師事務補助室 | 大石 美保子 |

～情報交換会～

情報交換会では、①診療補助業務、②医療文書作成補助業務、③コミュニケーション、④人材育成・スキルアップの4つのテーマに分かれ、各病院での問題点や実践していることなどについて情報交換を行いました。

各テーマごとに活発な情報交換が行われ、病院によつての違いや問題点、工夫を聞くことができ、学びの多いものとなりました。



最後に当支部長 門田 美紀よりあいさつをし、第5回地方会を閉会としました。

～地方会を通じて～

地方会終了後のアンケートでは「日頃、触れることのない法令などを学ぶことができ、大変良かった」、「他院での業務内容や取り組み方など参考になりました」、「カルテへの具体的な記載方法、記入例、内容等 分かりやすく説明していただき、大変参考になりました」などの感想をいただきました。

これからも多くの施設と情報共有できるよう、また共に学んでいけるような横のつながりを大切にしていきたいと感じました。

最後になりますが、地方会にご参加いただきました皆さま、開催にご協力いただきました関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

以上で活動報告といたします。

報告者： 高知県支部 世話人 和田 唯華

